



THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS

2018年(平成30年)

建設工業新聞

12月4日 火曜日

第19561号

発行所 日刊建設工業新聞社
〒105-0021 東京都港区東新橋2-2-10
電話03(3433)7151 <https://www.decn.co.jp/>
◎日刊建設工業新聞社 2018
記事 電話03-3433-7161 mail-ed@decn.co.jp
印刷 電話03-3433-7152 mail-sa@decn.co.jp
広告 電話03-3433-7154 ei-ryo@decn.co.jp

岐阜県大垣市の大垣公園に嘆願書を携えた金森吉次郎の大きな銅像が建立されている。第2次大戦時、金

属供出のために取り壊されたが、1954(昭和29)年に元の台座の上に元の姿のまま再建された。

明治維新150年と治水の歴史

竹林征三

〈39〉舜の誉、禹の徳・金森吉次郎

業に竭して顧惜する所なし。」

金森は金原明善と出会い、「治水のことは治山である」の持論をもって岐阜県にあった5万20000畝の植林とともに、1896

(明治29)年9月の大洪水時には、一命を捨てる死刑を覚悟で村人を集め横曽根堤防を切り開き、8000戸の家屋と4万人の人命を救った。松涛寺の墓地に金森の墓石がある。墓石に刻された戒名は「功隆院舜嘗

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

己の身体をいたわることなく、心身過労の結果、ボロボロとなり健康を害し、病気が加療中にも、なお、治水の事を忘れず、日夜治水の策に意を注いでいた。まさに禹王そのものだ。

「人と為り剛毅果断、誠純事に當り、謹恪職に竭し、志道義に厚く、尤も公共心に富む。夙に国土経営を以て自任し、畢竟心を治水治山に用ひ、画策盡瘁至らざるは無し。また或は忠臣義士を顕彰し、或は孝子節婦を旌表し、或は鰥寡孤独を救恤し、或は先哲の墳墓を修治し、或は神祠仏宇を修築し、或は道路橋梁を改築する等美事芳飾躡枚挙に遑あらず。……素と一腔の熱

気あり。王を尊び国を愛し、居恒天下に先立ちて憂へ、天下に後れて楽しむ。談ずる所天下国家の大事に非ざれば、即ち仁人義士の実蹟にして未だ曾て人に語るに家事を以てせず。談苟も王室に及べば、席を清め、襟を正さざれば語を発せず。家に嗣子無きも以て意に介せず。巨万の産之を公共事

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、

山田は資性・朴直にして剛邁、事に当たっては屈せず。主となり、以降庄屋役として藩の堤防普請掛となり、